



国語・算数の力と学習や生活の様子

～『R6全国学力・学習状況調査』結果から～

今年度は、国語・算数の全国学力・学習状況調査が実施されました。その結果および分析を受け、白山小学校の子供たちの学習と生活の様子をまとめました。

★国語について★

◎→特に良いところ ▲→伸ばしたいところ

①学習指導要領の内容における結果から

◎調査のあった「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」の4つの内容において、県・全国平均より高い正答率でした。

②特に正答率が高かった問題

◎話すこと・聞くこと…必要なことを質問しながら聞いたり、聞き手の知りたいことを読み取って話し方を変えたりすることができています。

◎情報の取り扱い方に関する事項…

「メモしたこと」と「考えたこと」、「変更する前」と「変更した後」のように、基準がはっきりしている時の情報の分類と整理、情報どうしの関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができています。

③課題が見られた問題

▲読むこと…人物の動作や周りの情景から人物の気持ちを読み取ることに課題が見られました。

▲書くこと…目的や意図など複数の条件が提示されているうえで、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることに課題が見られました。

→読む力を高めていくために、本を読むときには、●言葉の意味の正しい理解●文と文のつながりを考える活動●キーワードを見つけ出す活動●人物の気持ちを表す表現を見つける活動●資料やグラフから必要な情報を読み取る活動等を各教科で行います。また、書く力を高めていくために、字数や使用する語句などの条件を設けて、あらすじをまとめたり、自分の考えをまとめたりするなどの活動を、継続的に取り入れていきます。

★算数について★◎→特に良いところ ▲→伸ばしたいところ

①学習指導要領の領域における結果から

◎調査のあった4つの領域のうち「数と計算」「図形」の2つの領域は、他の領域に比べ正答率が高くなっていました。

②特に正答率が高かった問題

◎数と計算…問題文を読み、答えを求めるために必要な四則演算の式を立てることができています。

◎図形…面積や円周を求める公式、四則演算の計算の順序などを理解し、公式に従って答えを求めることができています。

③課題が見られた問題

▲変化と関係…比例や反比例のきまりを使って一方の値がわかっている時に、対応する値を求めることに課題が見られました。

→数や量について、数直線や関係図・言葉で表すなど、算数的活動を積極的に取り入れ、多様な考えに触れる機会を増やし、見方や考え方を広げていくことができるようにしていきます。

▲データの活用…円グラフや帯グラフ、棒グラフなどそれぞれのグラフの特徴や活用目的などを理解してグラフの値を読み取ったりデータを整理したりすることに課題が見られました。

→データの効果的な活用と、データから考えられることを聞き手に伝えるために適したグラフの選択する学習を他教科でも積極的に取り入れ、グラフや表を使うことの良さが実感できる活動を取り入れます。また、算数用語を適切に使い、わかったことや考えたことを自分の言葉でまとめる活動を丁寧に行っていきます。

《家庭や地域に関すること》

(◇よいところ ◆課題)

◇自分が住んでいる地域のことについて関心を持ち、自分のできることで関わっていききたいと思っている児童が多くいます。



◇早寝・早起き・朝ご飯を意識した生活ができています。

◆自分とは異なる意見について深く考える児童の割合が、全国・県の平均と比べて低い傾向にあります。

→話し合い活動の時間と場を確保し、お互いの考えの良いところを認め合う活動を進めます。学習においても別の解き方や考え方を紹介しあい、それぞれの良さを確かめ合う学習を取り入れます。

《学校に関すること》

◇多くの児童が、学校の友達と関わるのが楽しいと思っています。



また、友達が困っている時に助けてあげることが大事なことと考えています。

◇いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っています。

◇授業で学んだことをほかの学習で生かしている児童が多くいます。

◆学習や学級の課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組もうとする児童の割合が、全国・県の平均と比べて低い傾向にあります。

→学校行事や児童会活動など、自分のこととして捉えることができるように、活動目標を設定します。話し合い活動を充実させ、多様な解決策や考え方があることを示し、課題にあった対応がとれるように支援していきます。

《自分自身に関すること》

◇多くの児童が、自分には、よいところがあると思っています。



◇人の役に立つ人間になりたいと思っています。

◇多くの児童が、将来の夢や目標を持っています。

【学力面との関係で分析すると】

次のように回答した児童ほど正答率が高くなっていることがわかります。

◇自分には、よいところがあると思っている。

◇学習内容や目的をしっかりと理解して、効果的な ICT 機器の活用ができています。



◇学校で学習する内容は、現在や将来にわたって役に立つものと考え、意欲的に学習に取り組んでいる。

◆毎日新聞を読む児童が少ない傾向にあります。

→それぞれの教科の学習の中に新聞を取り上げたり、必要な資料を新聞から取り寄せるなどの活動を取り入れたりして、新聞に触れること、新聞からの情報に触れる機会を増やしていきます。

これらの結果から【R6】

自然の豊かな地域のことについて、多くの人にもっと知ってもらいたいと思っている白山っ子です。また、普段の学校生活において、友達との交流を通して、共に学び合い、自分の考えを深めたり、広げたりすることに喜びを感じています。

今後は、次の3つの活動をより充実させていくことで本校児童のさらなる学力向上に努めてまいります。今後ともご協力よろしくお願い致します。

- お互いのよさや思いを大切に、目標を明確にもち、なりたい自分を目指しながら、よりよい仲間づくりのできる活動の設定
- 子供たちが自らの課題を見出し、自分のこととして捉え、さらに主体的で深い学びに向かうことができる活動の推進
- 学習した内容を地域や身近な事象と関連づけて考えることのできる授業の工夫改善